

横浜市

# こどもの 美術展 2009

7/29 水 → 8/3 月

10:00 - 18:00

入場は  
17:45 まで

出品してくれた全員に  
ハマキッズ・コロロ  
缶バッジをプレゼント!

今年の色とは  
異なります。



会期中には誰でも参加できる  
楽しいワークショップや、  
スペシャルトークも開催されます。  
(詳細は裏面をご覧ください。)

入場  
無料

## 横浜市民ギャラリー恒例 夏のこどもの一大イベント! 元気なこどもの絵大集合!

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY  
横浜市民ギャラリー

主催：横浜市民ギャラリー（横浜市芸術文化振興財団）  
後援：横浜市民生活推進局、横浜市教育委員会、神奈川新聞社、tvk、RFラジオ日本、FMヨコハマ、  
横浜市ケーブルテレビ協議会、横浜市子ども連絡協議会、横浜市PTA連絡協議会、  
（社）横浜市幼稚園協会、横浜市幼稚園父母の会連合会、横浜市安全教育振興会  
協賛：**475**株式会社  
協力：女子美術大学

- 乳しほりしたよ 田中実有 / 3年生
- 心のこったプラネタリウム 青山千香 / 4年生
- イソガニ 金子純 / 2年生
- 大きなクジラ 家原京果 / 5歳

掲載作品はいずれも昨年度出品作品（部分）年齢・学年は当時のものです。



# 横浜市こどもの美術展について

「横浜市こどもの美術展」は横浜の子どもたちが自由な発想で元気いっぱい描いた作品を広くご覧いただくことで、親子の対話の場を提供するとともに、美術への関心を高め、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的としています。自由な発想と豊かな表現にあふれた子どもの絵を大募集します。

## 応募のしかた

### 応募資格

横浜在住・在学の小学生以下の児童・幼児（0歳～12歳）なら誰でも応募できます。（出品者全員に参加賞として、ハマキッズ・コロロ缶バッジをプレゼントします）

### 応募できる絵の種類

平面作品。画材、技法、テーマは自由。

[ 個人制作の場合 ]

応募点数……1人1点。

大きさ……四つ切画用紙（38.0×54.0cm）。絵の縦横は自由。

※それ以下のサイズのものには必ず四つ切画用紙に貼り付けてください。

[ グループ制作の場合 ] 2人以上何人でも結構です

応募点数……1グループ1点。

大きさ……78.8×109.1cm（模造紙サイズ）以内。厳守してください。

※作品の展示（飾りつけ）は横浜市民ギャラリーで行います。

### 応募方法 (作品の受付)

- 1 右ページの「画題カード」を切り取り、必要事項を記入した後、作品の右下にのりで貼り付けてください。作品1枚に対し、画題カードを1枚貼ります。兄弟姉妹やお友達と応募する場合、団体で応募する場合など、画題カードが複数必要なときはコピーして使ってください。※ここまでの作業は作品の受付前に必ず済ませておいてください。
- 2 必ず指定した受付日時に横浜市民ギャラリーの地下1階アトリエまで、作品を直接持ち込んでください。《 郵送、宅配便での受付は出来ません 》  
「作品受付票」に必要事項を記入し、作品を提出してください。  
作品受付票に基づいて受付をします。
- 3 お渡しする「作品引換え票」を返却日まで大切に保管してください。  
《 展示準備の都合上、作品受付日以降の受付は一切できませんので、ご了承ください 》

作品受付日	7月17日（金）、18日（土）
受付時間	10:30～16:00（両日とも）
受付場所	横浜市民ギャラリー地下1階アトリエ



ハマキッズ・コロロ  
について

1965年の第1回「横浜市こどもの美術展」で誕生して以来、みんなに親しまれているキャラクターです。ずっと名前がなかったのですが、2006年に公募によって名前がつけました。三角形の体に楕円形の顔、まん丸な目が特徴です。缶バッジの色は毎年変わりますよ。

# 画題カード 黒いサインペンでわかりやすく、大きな字で記入

- 正面から見て右に貼ってください。
- 「作者のコメント」欄は、何を描いたのか、どんな気持ちで描いたのか、など自分の作品について、一言コメントを書いてください。小さいお子様は、保護者や先生がお子様のお話を聞いて書いてあげてください。



画題カード

↓この線に合わせて貼ってください↓

受付番号		整理番号	—
------	--	------	---

太枠の中のみご記入ください

**画題**

---

作者またはグループ名 ふりがな ..... ( 学年 )  
 ( 歳 )

---

作者のコメント .....

キリトリ線

## 返却方法

受付日にお渡しする「作品引換え票」をお持ちください。  
番号、作品を照合し作品をお返しします。

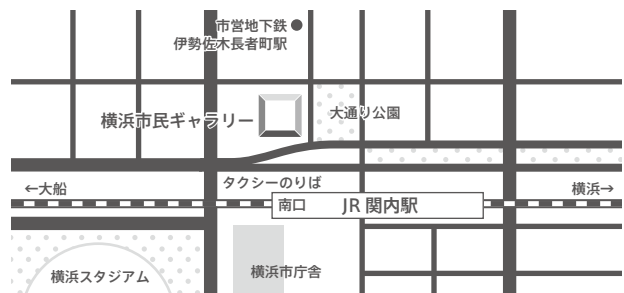
作品返却日	8月8日(土)、9日(日)
返却時間	10:30 ~ 16:00 (両日とも)
返却場所	横浜市民ギャラリー地下1階アトリエ

- ※作品はゆうパック(着払い)でも返却することができます。受付時にお申込みください。
- ※8月17日(日)を過ぎてもご連絡・お引取りとにもない場合は、自動的に着払いで返却させていただきますのでご了承ください。

### お問合せ、展覧会場、作品受付・返却場所

## 横浜市民ギャラリー

〒231-0031  
 横浜市中区万代町1-1(教育文化センター内)  
 TEL: 045-224-7920  
 FAX: 045-224-7928  
 e-mail: ycag@yaf.or.jp  
<http://www.yaw.or.jp>



今年で44回目となる横浜市こどもの美術展。横浜市民ギャラリーが開館した翌年の1965年(昭和40年)から始まった夏の一大イベントです。市内在住・在学の小学生以下の子供たちの作品を、1階～3階までのギャラリー全部を使って展示します。いつの時代も新鮮で、元気に満ちあふれた「こども展」。展覧会で絵を見る楽しみ、見てもらう喜び、そしてワークショップでつくる面白さを、一度に体験できる6日間です。会期中には関連イベントもおこなわれますので、お家の人やお友だちを誘って遊びにきてください。



あじさいのはな よし こうすけ/5歳



自分のかお 亀谷 優衣/3年生



昨年度会場の様子



こども展スペシャル  
ハマキッズ・アートクラブ 特別版!

自由参加  
ワークショップ

手をつかって つくろう あそぼう つながるアート

大きな手、小さな手、よく動く手、動かない手、やさしい手。手にはいろんな形、表情があります。手につくものや、手につくものとして、楽しく造形をおこないます。みんなのつくった形が、次の人の材料になってつながっていくよ。誰でも自由に参加できます。

時間 会期中 13:00 ~ 16:00 参加無料 会場 展覧会場内

※動きやすく、汚れてもよい服装でご参加されることをお勧めいたします。



昨年度ワークショップの様子

横浜市民ギャラリーと女子美術大学の共同プロジェクト



川口吾妻先生のスペシャル・トーク

タッチパネルを用いたコミュニケーションをねらいとした障害児療育プログラム、「たっちゃんのコネク島」の開発者である、川口吾妻先生のお話です。子どもの発達や触れ合いをキーワードに、タッチパネルの開発経緯など、ふだんは聞くことのできない内容をお話いただけます。



日時 8月1日(土) 14:00 ~ 14:45 会場 展覧会場内

【講師略歴】

かわぐちあずま 東京都生まれ。女子美術大学芸術学部メディアアート学科教授。1990年代よりCGアート&デザイン作品を発表。美大のコンピュータ教育に携わり、タッチパネルを使用した誰もが楽しめるマルチメディアコンテンツ制作の教育を産官学連携で進めている。「問題解決型美術大学教育の実践」という教育活動を実施(平成19年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」事業)。

Kid's Craft

親子で遊べる学べる!! 園工の時間コーナー  
夏休みの工作・自由研究おまかせください!!



●粘土工作 ●木工作 ●紙工作 ●電子工作 ●ペイント  
●バルーンアート ●ガラスアート ●実験・観察 ●昆虫標本 他

クラフト・画材・文具の店

Uni art

ららぽーと横浜 ノースコート3F

http://unidy.info/uniart/

●車でのアクセス→  
東名高速道路 横浜青葉ICより4.5km  
第三京浜 港北ICより2.5km  
●電車でのアクセス→  
JR横浜線「鶴居」駅より徒歩7分  
横浜市都筑区池辺町4035-1

TEL 045-414-2370  
営業時間 AM10:00～PM9:00

さわってあそぼう!  
タッチパネルコーナー

株式会社キャドセンター、女子美術大学、杉並区こども発達センターが障害児療育支援のためにシステム・ソフト開発を行っている産官学の共同開発プロジェクト。幼児から大人まで楽しく遊べる大型タッチパネルセンサーを用いたコンテンツです。

日時 会期中毎日 10:30 ~ 17:30 参加無料  
会場 展覧会場内